

料金後納

ゆうメール

差出人/返還先
株式会社 イムラ
東京メーリングセンター
〒196-0032
東京都昭島市郷地町3-7-1

いま年間購読をお申し込みの
皆さまに最新号(2023年9月号)を
無料贈呈 /させていただきます!!

経理の仕事って幅広い!

経理 WOMAN の仕事は本当に幅が広いもの。本来の仕事である経理業務だけでなく、総務・人事・社会保険と種々様々です。しかも、それらの事務は、ミスが出たとき「コメンナサイ」では済まされません。

でも経理って面白い!

しかし経理ほど面白い仕事はありません。仕事を通じて税金や社会保険など、さまざまな専門知識を身につけることができます。経理は会社のコントロールタワーなのです!

経理のレベルアップを 図りませんか?

いろいろな知識が必要とされる仕事。やりがいのある仕事。そんな経理のレベルアップを目指すための専門誌が「月刊経理 WOMAN」です。創刊から27年。全国4万人の経理ご担当者にご愛読いただいています。あなたも「月刊経理 WOMAN」の仲間になりませんか?

最新号(2023年9月号)ではこんな記事が掲載されています!

■特集■

保存の方法から特例措置の内容
端数処理までまとめて教えます!!

「インボイス制度」の 疑問が 氷解する15Q15A

■2023年9月号のその他の掲載記事■

- ◎もう一度確認しておきたい「社員旅行」にまつわる税務の留意点
- ◎「遺言書」にまつわる法律知識が理解できるQ&A
- ◎「社会保険料の会社負担」を減らすためのアノ手コノ手教えます
- ◎「人づき合い」で躓かないための5つの鉄則集
- ◎思わずコインを入れたくなる「ユニーク貯金箱」図鑑
- ◎有名人が語る「わたしの金銭哲学」(ふせえりさん)

●創刊:1996年4月 ●体裁:A5判、縦組、116ページ ●発行日:毎月20日
●年間購読料:11,100円(12冊分/1冊当たり925円/税・送料込)

編集担当者からのご挨拶

残暑の日差しが照りつける中、向日葵が空を仰いでいます。皆さん、こんにちは。
「月刊経理WOMAN」編集部横田麻美です。皆さん毎日経理のお仕事で忙しくされていることと思います。実は私の母も中小企業で経理の仕事をしていたので、その忙しさはよく分かります。経理事務はもちろんのこと、社会保険の手続きから給与計算まで、中小企業の経理ご担当は大変ですよ。

そんな皆さんに絶対オススメの雑誌が、「月刊経理WOMAN」です。税務・社会保険の法定事務はもちろん、経理ご担当者が知っておきたい実務知識をどこよりも分かりやすく解説しています。さらに有名人の「金銭哲学」や映画情報、オススメ本など、楽しく読める記事も満載! この機会にぜひ読んでみてくださいね!! (もちろん男性の経理ご担当者にもお役立ていただけます)



OPEN

「月刊経理WOMAN」2023年9月号には こんな記事が掲載されています!

皆さん、こんにちは。編集長の天野恵実子です。今回のDMをご覧くださいありがとうございます。本誌「月刊経理WOMAN」の創刊は今から27年前の1996年4月のことです。以前私は別な出版社で経理・税務の雑誌を編集していたのですが、「経理や税金の記事は難しいなあ…」「もう少しビギナー経理でも理解できるようにやさしく解説できないのかなあ…」と常々疑問に思っていました。そこで**「税務や社会保険についてビギナーの経理・税務・総務担当の方でも理解できるよう、できるだけ分かりやすく解説することをコンセプトに創刊されたのが「月刊経理WOMAN」なのです。**創刊当時は、難しい専門的な知識を分かりやすく執筆いただける税理士・社会保険労務士・弁護士の先生方を必死に探したものです。そして創刊からあつという間に27年が過ぎましたが、おかげさまで現在、全国4万人の経理総務ご担当者にご愛読をいただいています。



さて、その「月刊経理WOMAN」2023年9月号の特集企画では、「**『インボイス制度』の疑問が氷解する15Q15A**」を掲載しています。皆さんもご承知のように、いよいよ10月1日からインボイス制度がスタートします。**わが国で初めて導入される制度だけに実務担当者の不安も大きいのではないのでしょうか。**インボイス制度が導入された背景や制度のしくみについては、いろいろなところで取り上げられていますので、皆さんもおおよそのことは理解されていることでしょう。そこで「月刊経理WOMAN」9月号の特集企画では、インボイス制度の実務についてありがちな疑問を15項目取り上げ、それぞれについての対応等を分かりやすく解説しました。どれも参考になるQ&Aとなっています。**本特集を参考に、10月1日までにインボイス制度の正しい知識を身に付けておきましょう!!**

特集 保存の方法から特例措置の内容 端数処理までまとめて教えます!!

「インボイス制度」の 疑問が氷解する15Q15A

インボイス制度では、売手である登録事業者は、買手である取引相手から適格請求書を求められたときには、適格請求書を交付しなければならず、また、交付した適格請求書の写しを保存しておく必要があります。そして、買手は、消費税の仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、売手である登録事業者から交付を受けた適格請求書の保存等が必要になります。**したがってインボイス制度への対応は、自社が売手の立場にあるか、買手の立場にあるかに分けて検討する必要があります。**本特集も、自社が売手の立場の場合、買手の立場の場合をイメージしながら読み進めてみてください。なおquestionでは、下記のような項目が取り上げられています(一部抜粋)。

Q 免税事業者等からの仕入税額控除について経過措置が設けられていると聞きましたが、どんな内容ですか?

Q 消費税の計算方法には割戻し計算と積上げ計算があるそうですが、どう違うのですか?

Q 事務所家賃など口座振替の取引でインボイスが受け取れない場合はどうなりますか?

Q インボイスに関連して消費税の端数処理で気を付けることはありますか?

Q 適格請求書に代えて適格簡易請求書を交付できるのはどのような場合ですか?

Q 適格請求書と適格簡易請求書はどこが違うのですか?

Q 社員に支給する出張旅費や宿泊費、日当等についての仕入税額控除はどうなりますか?

Q 取引先から振込手数料が差し引かれて入金された場合の経理処理はどうなりますか?

Q 発行したインボイス、受け取ったインボイスの記載事項に誤りがあった場合、どんな対応が必要ですか? その他



2023年9月号のオススメ記事 ①

諦めるのはまだ早い！ できる方策を検討してみよう!!

「社会保険料の会社負担」を減らすためのアノ手コノ手教えます

「少子化対策」の財源について社会保険料の負担増が議論の俎上に上がっています。今後、社会保険料が上がることはあっても下がることはないでしょう。そんななか「少しでも会社負担の社会保険料を減らせないだろうか」と考えるのは当然のことです。ただ、法人税等の節税の知識はあっても、社会保険の節減の方法はいまひとつ理解できていない人が多いようです。ここでは「社会保険料の会社負担」を減らすための方策について多角的に考察します。実現可能かどうか、社長と経理担当者で検討してみてもいいかがでしょうか。

◎この記事で理解できること…社会保険料の負担が会社にとって重荷になっている現状について／社会保険料の会社負担を減らすためのアノ手コノ手／社会保険料の削減にはデメリットもあるということについて／その他、実務担当者・経営者へのアドバイス



2023年9月号のオススメ記事 ②

福利厚生費とするための要件から上限金額まで

もう一度確認しておきたい「社員旅行」にまつわる税務の留意点

人手不足で新規採用が難しくなっている最近、福利厚生に力を入れる企業が増えています。そのひとつとして社員旅行の実施が挙げられます。ただし団体行動を嫌がる社員も少なくないため、最近の社員旅行では、行先についてアンケートを取ったり、旅先での自由時間を増やすなどの工夫を加えているケースが多いようです。社員旅行に関しては会社が費用を負担する場がほとんどですが、支給の仕方によっては社員の給与となる場合もあるので注意が必要です。ここでは「社員旅行」にまつわる税務の留意点について解説します。

◎この記事で理解できること…社員旅行を実施することのメリットとは／社員旅行を経費計上するための条件とは／社員旅行を経費計上するときに注意すること／社員旅行で経費計上できないのはこんなケース／その他、経理担当者の留意点



2023年9月号のオススメ記事 ③

「お一人様」のあなたも無関心ではられない？

作成したほうがよいケースから公証役場の使い方まで

「遺言書」にまつわる法律知識が理解できるQ&A

遺言書は相続に関する自分の意思を示すための書類です。遺言書を残すことで、家族や親族内での遺産分割のもめごとを避けることもできますし、生前にお世話になった相続人以外の人に財産を渡すこともできます(これを遺贈といいます)。最近は「お一人様」の女性が多くなっていることもあって、遺言書を用意する人が増えているようです。ここでは遺言書の効力や作成方法などの法律知識をアドバイスします。

◎この記事で理解できること…遺言書とはそもそもどういうものか／遺言書を残すことでどんなメリットがあるのか／遺言書にはいろいろ種類があるということについて／遺言書を作成しておいたほうがよいケース／遺言書を残すにあたっての注意点／その他



2023年9月号のオススメ記事 ④

スムーズに仕事を進めるためには円滑な人間関係が不可欠だ!!

「人づき合い」で躓かないための5つの鉄則集

経理の仕事では、他部署の人とのコミュニケーションが必要になる場面が多々あります。いつも忙しそうにしている営業担当者に売上予測の数字を出してもらわなければならない…。経費精算にルーズな社員に注意を促したい…。そんなときものを言うのが、日ごろの人間関係です。ここでは「人づき合い」で躓かないためのポイントを専門家がアドバイスします。今日からぜひ実践してみてください。

◎この記事で理解できること…鉄則1 相手の嫌うことをしてはいけない／鉄則2 相手をほめれば人間関係はうまくいく／鉄則3 短所よりも長所に目を向ける／鉄則4 本人の嫌がることを話題にしてはいけない／鉄則5 プラスの言葉で対応しよう／その他



「月刊経理WOMAN」の ここがオススメです!!

「月刊経理WOMAN」の最大の特長は「難しい専門知識をビギナーの実務担当者にも理解できるように解説している」ところにあります。執筆者の先生のなかには、やたらに難解な表現で原稿を書いてくる方もいるのですが、当然、そのまま掲載することはしません。何度も書き直しをお願いして、これなら「月刊経理WOMAN」に掲載してもOKという内容にならない限り記事を掲載しません。そんな「月刊経理WOMAN」ですが、ほかにも以下のようなオススメポイントがあります。



経理税務だけでなく 社会保険・総務・人事関連の企画も 豊富に掲載しています!

本誌は中小企業の経理ご担当者を意識して企画編集しています。皆さんもご存知のとおり中小企業の経理ご担当者は、経理の仕事だけをやっているわけではありません。多くの場合、社会保険事務から給与計算、採用関係、場合によっては登記手続きまで幅広い仕事をこなしています。本誌では、経理・税務だけでなく社会保険や労務関係、そしてビジネスマナーまで幅広く記事を掲載しています。



冒頭の連載記事「今月の事務」では、 毎月の法定事務や 税制改正情報などを掲載しています!

本誌の巻頭には、連載企画として「今月の事務」が掲載されています。本連載では税理士と社会保険労務士が毎月の法定事務や、その他気をつけたい事務手続きについて分かりやすく解説しています。また、そのときどきで押さえておきたい法改正情報も、その都度取り上げてご紹介しています。毎月の事務の指針としてご活用ください。



毎年12月号には別冊付録として 「年末調整まるかじり」が付いています!

経理ご担当者にとって最大の“イベント”が年末調整です。令和4年の年末調整ではそれほど大幅な改正はありませんでしたが、令和5年分から適用される、非居住者である扶養親族にかかる扶養控除の範囲の変更や住宅ローン控除の改正等には留意が必要です。本誌には毎年12月号に特別付録として「年末調整まるかじり」が付いています。本付録では、年末調整の基本知識からその年の改正ポイントまでをビギナーにも分かるようにレクチャーします。ぜひお役立てください!



お堅いだけの雑誌ではありません。 楽しく読める記事も掲載しています!

経理や税務の雑誌というお堅いイメージがありますよね。でも「月刊経理WOMAN」は違います! 有名人にお金まつわるエピソードや信念などを語ってもらう「わたしの金銭哲学」は、本誌独自のインタビュー記事です。毎号、スポーツ選手やタレントなど有名人がお金まつわる失敗談等を披露します。ほかにも、映画情報や書籍情報などを掲載。また巻末の投稿欄「経理WOMANの井戸端会議室」も同じ経理担当の立場として共感できる内容になっています。



編集部には、
毎月、読者の皆さんからの
熱いメッセージが届きます。本誌に対する感想や「あの記事が役に立った」
「こんな企画を取り上げて」といった内容も多く、
読者の皆さんには感謝あるのみです!!



研修出版はこんな会社です！

株式会社研修出版の創業は平成元年。設立から35年が経過します。創業以来、実務書の出版社として「仕事に役立つ情報をどこよりも分かりやすく発信し、広く社会に貢献する」ことをポリシーとしてきました。今回ご紹介する「月刊経理WOMAN」は1996年の創刊です。「難しい実務知識を、難しく解説するのは誰でもできる」「難しい実務知識を、どこよりも分かりやすく解説するのが本誌の務め」というのが創刊以来の編集ポリシーです。編集スタッフの合言葉は「営々黙々花が咲こうと咲くまいと」。これからも皆さまのお役に立てる雑誌作りに邁進していきます！

経理WOMAN編集部。
編集者は全員女性です。



経理・税務の知識を身に付けたい人には絶対オススメの月刊誌。

はじめまして。税理士の伊藤俊一です。「月刊経理WOMAN」さんとの付き合いは、編集部から原稿依頼を受けた8年前にスタートしました。そのときは「雇用促進税制」について執筆を依頼されたのですが、編集の方の依頼内容がとても細かくてびっくりしたのを覚えています。私は他の税務関係の雑誌にもときどき記事を執筆しているのですが、だいたいは執筆依頼書を送ってきて、そこに書かれている項目に沿って執筆すればOKで、とくに細かく注文されることはありません。税務の記事は難解なのが当然という意識もあるのかもしれませんが、「月刊経理WOMAN」さんの場合は編集者の方が事務所まで来られて、雑誌のコンセプトや想定している読者対象などについて詳しく説明され、「難しい表現は避けてください。ビギナー経理にも理解できるように解説してください」と念を押されました。そして出来上がった原稿についても「ここが分かりにくいので書き直しを…」とゲラ刷りの段階でのやりとりが何度も続きました。面倒だなあ…という気持ちの反面、読者のことをとても大切にしている雑誌だなあと好感を持ちました。それ以来、本誌では「相続税法の改正」や「税務調査関連」の原稿を執筆しましたが、編集部に鍛えられて(笑)、文章力も身に付いたように思います。経理・税務の知識を分かりやすく解説してくれる書籍を探していっしょの方には絶対オススメの月刊誌です。



税理士 伊藤俊一

幅広い実務知識を勉強できる良質の月刊誌。

「月刊経理WOMAN」さんには何度か記事を書かせていただいています。最初は社会保険の手続きについて解説したと思いますが、「経理」の専門誌なのに社会保険の記事を掲載するの?と疑問に思ったものです。その疑問も、最初に編集者の方と打ち合わせをして説明を受けたことで納得しました。その女性編集者の説明は以下のとおりでした。本誌は中小企業の初級の経理担当者を対象にしていること。中小企業では多くの場合、大企業のように経理部門が独立しているわけではないこと。経理といっても人事・総務的な仕事や採用関連まで幅広く担当しているケースが多いこと……。たしかにいただいた本誌に目を通してみると経理や税務の記事だけでなく、社会保険から採用関連、取締役議事録の作成方法、登記簿謄本の読み方まで、内容がじつに幅広い。なるほど、これならオールラウンドプレーヤー的な立場の中小企業の実務担当者にはぴったりだなあと得心しました。本誌で幅広い実務の基本知識を身に付けて、もっと専門的に知りたい、深い知識を身に付けたいという場合は、顧問税理士や社会保険労務士の先生にアドバイスを受ければよいのではないのでしょうか。幅広い実務知識を勉強できる良質の月刊誌だと思います。



社会保険労務士
菅島敏邦

私にとってはかけがえのない愛読誌です。

経理歴10年以上になりますが、毎月の仕事にいつも参考にさせていただいています。経理課に配属された当初から購読していますが、最新の税制に関する情報から、初心者向けの記事まで、内容が多岐にわたって分かりやすく解説されているので、とても読みやすく理解しやすいです。とくに「仕訳ワンポイントレッスン」や「初心者E子の実務レッスン講座」は、日頃当たり前に行なっている業務を改めて考える機会になり、毎回新たな発見があります。また、本誌の冒頭の連載企画である「今月の事務チェックポイント」は、毎月雑誌が届くとまず最初に目を通す記事です。というのも当月にやるべき経理・税務・社会保険・労務の法定事務の内容や手続きの仕方が分かりやすく解説されているからです。「経理WOMAN」と女性向けのタイトルですが、部署内で回覧し男性も読んでいます。その他、映画の紹介(今月のシネマ 決めうちこの1本)や書籍紹介(お気に入りのこの1冊)、読者投稿(経理WOMANの井戸端会議室)なども息抜きにぴったりです。経理スキルの浅かった私にとって、現在はかけがえのない愛読誌となっています。



株式会社北川商事 経理課
清田 寧

お申込みは以下のいずれかの方法でどうぞ!!

0120-458934

受付時間：10時～15時（祝日を除く月曜～金曜）

FAX 0120-458937

FAXの場合は下記のフォームをご利用ください。

Web www.kens-p.co.jp

24時間受付しております。

年間ご購入お申込書

お申込者ご住所

送付先が上記住所と違う場合はこちらへご記入ください。

〒

ご自宅・ご勤務先 ※どちらかに○印をお付けください。

会社名・部署名

お電話番号

()

ご担当者名

メールアドレス

ご購入期間をお選びください

(いずれかに☑をお付けください。)

安心1 お支払いは月刊誌が届いてからの後払いです。

安心2 中途解約も可能です。

その場合は精算のうえ、ご返金申し上げます。

1年 (12冊) …………… 11,100円 (税・送料込 / 1冊当たり925円)

2年 (24冊) …………… 19,980円 (税・送料込 / 1冊当たり833円)

3年 (36冊) …………… 25,600円 (税・送料込 / 1冊当たり712円)

▶バックナンバーご購入お申込書

*ご希望の号に☑印をお付けください。1部 980円 (税・送料込) です。
*詳細や他の号の内容はホームページでご確認いただけます。



2023年8月号
儲けにつながる
「経営計画書」の
つくり方&活かし方



2023年7月号
「改正電子帳簿保存法」
中小企業の実務対応Q&A



2023年6月号
「決算書を読むチカラ」が
身に付くセミナー



2023年5月号
「パワハラ・セクハラ」
トラブル回避のための
完全マニュアル



2023年4月号
中小企業のための
「資金調達」の教科書



2023年3月号
貸借対照表 (B/S) から
読み解く財務改善
7つのヒント



2022年12月号
決算3か月前にできる
「節税対策」あの手この手



2022年11月号
いますぐ着手すべき
「就業規則」の見直し
ポイント



2022年10月号
最新版「税務調査」に
みるみる強くなる
19Q19A



2022年9月号
「福利厚生費」の税務に
強くなる3時間セミナー



2022年7月号
もう一度おさらいして
おきたい「棚卸資産」の
税務知識



2022年6月号
「中小会計要領」のことが
理解できる3時間セミナー

▶キリトリ線 () で切り取ってからMAXしてください